

会 議 録

会議名称	第1回大空町営牧野運営検討委員会	
開催日時	令和4年2月14日（月）	9時56分から 11時42分まで
開催場所	大空町役場3階1号会議室	
出席者の氏名	大空町営牧野運営検討委員会出席者氏名（敬称略） 石田 正俊、朝妻 政樹、梅田 敏則、後藤 忍、遠野 祐一、 河西 悟、渡辺 忍、植田 泰弘 山下町長、作田産業課長、坂本産業課農業グループ主幹、佐藤産業 課農業グループ主事	
実施内容	委員長・副委員長の選任について 住吉牧野概要 牧野の現状について 検討事項について （1）施設を継続する場合の課題等について （2）施設を廃止する場合の課題等について その他	
会議資料の名称	令和3年度第1回大空町営牧野運営検討委員会 令和3年度大空町営牧野運営検討委員会《参考資料》	
審議内容及び結果	<p>【審議内容】</p> <p>◆開会</p> <p>◆町長挨拶</p> <p>◆委員紹介・出欠報告</p> <p>◆議題</p> <p>1 委員長・副委員長の選任について <u>委員長 石田 正俊、副委員長 植田 泰弘</u></p> <p>2 住吉牧野概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住吉牧野の設置等過去の経過 ・施設（放牧預託事業）概要 ・牧場の受入実績と収支状況等 	

事務局) 農家戸数は減っているが頭数的にはそんなに上下していない。

委員) 飼育頭数は減らないのに預けなくなった理由は何か。

委員) 管理の面で自分の家で管理できる人と牧場に預けて管理したいという人の差が出てきたこと。牧草草地を持っている人、自分で牧草の確保ができる人は自分の家で管理する方が細やかにみることができる。牧野に出す人の理由は牛が歩くことにより牛の体作りになり粗飼料の確保が難しい人が多い。決して牧野が高いとかでなく金額は安い、皆さんそれぞれ考えるところがある。

3 牧野の現状について

- ・今年度及び直近10か年の入牧・収支状況
- ・収支改善に向けたこれまでの取組・経過について

委員) 利用検討している農家は近隣市町村か。どのぐらいの規模なのか。

事務局) 近隣市町村で規模はそこまで大きくはない。

委員) 貸与売買含め、買いたいという話か。

事務局) 放牧メインで経営したいという農家で、その割に今持っている敷地が少ないので新しいところを探している中でうちの牧野に行き当たったところ。

4 検討事項について

- ・施設を継続する場合の課題等
- ・施設を廃止する場合の課題等

事務局) 今回の会議が1回目でこの場で結論を出すことは考えていない。いろいろな提案や意見をいただくとありがたい。

委員) 利用している人の中には存続してほしいという人がいるのは確かである。ただ、頭数、お金の数字を見た限りなかなか厳しい運営が続いていることは和牛組合でも説明をしながら、組合でできることは何か話し合いをしている。皆さんからあり方について言ってもらえれば組合に説明したい。

委員) 赤字だから牧野をやめた方がいいという方向付けでなく、この委員会で検討をしていかなければならない。牧野をやめる前提に問題を提起していくのではなく、どうやったら農家がきちんと

営農できるかということを考えるべきでないか。

委員) 閉牧ありきではなくある程度ステップを踏んだ中で、皆さんの知恵を出した中で存続した上でという方がベターなのかと思う。

委員) 跡地の利活用で、例えば面積を半分にしたときに残りの部分を維持していかなければならないのか。半分にしたときに半分は全く別な用途で植林の活用場に転用してしまうのか、教えてほしい。

委員長) 面積を縮小できないか、半分植林できないか、経費削減や面積縮小の意見があったが、次回の委員会でその辺のデータを出してもらおう事務局にお願いする。

委員) 大変厳しいとずいぶん前から聞いているが、特に人の確保は難しいというところで存続は難しいのかなと資料を見ると思う。関係機関と協議しながら調整していかなければならない。

5 その他

事務局) 皆さんからいただいた意見を踏まえ、次回の議案にお答えとなるか資料提供を行っていきたい。次回の会議の開催は3月上旬から中旬くらいを考えている。よろしくお願ひしたい。

6 閉会

11時42分終了